

所属団体や防犯情報配信

“電子回覧板”で

地域の連携支援

システム開発を手掛ける松江市内の企業が、安心・安全な街づくりに一役買おうと、携帯電話のメールで不審者や災害などの緊急情報を伝える連絡サービスを無償で始めた。地域の結びつきが希薄化する中で生まれた電子の回覧板。すでに導入を決

めた自治会もあり、普及する機会も増える。松江市の企業は、安心・安全な街づくりに一役買おうと、携帯電話のメールで不審者や災害などの緊急情報を伝える連絡サービスを無償で始めた。地域の結びつきが希薄化する中で生まれた電子の回覧板。すでに導入を決

緊急情報の伝達を狙いに、松江市浜乃木の国尾自治会が導入した携帯電話の連絡網



松江の企業 携帯電話に無料メール

団、防犯ボランティアなどの団体加入を想定。加入団体ごとに置く責任者が、会議の招集や行事案内を書き込み、県警や学校からの防犯、防災情報なども反映させて、メンバーの携帯電話に配信する仕組み。

知らせを受けたメンバーは、情報が記載された携帯サイトのアドレスにアクセスして、詳細を見る。メンバーが配信情報を閲覧したかを確認することもできる。

関連ページに、地域の商店情報などを載せ、広告料を徴収することで、無料の情報サービスとした。

すでに、同市浜乃木の国尾自治会（約百五十世帯）が五月から試験運用を始めており、年内にも本格稼働する計画で、松江警察署の乃木派出所や乃木公民館からの情報も配信する予定。

地域ぐるみの安心ネットワークを旨とする石本光史社長（51）は「時代に即した連絡網として生かす、地域の人と人とのつながりを再構築したい」と話した。